

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

アメリカいいなりの大軍拡 大企業いいなりの原発推進 命ないがしろの悪政かえよう

村穂江利子
予定候補

人生の歩みにて 社会の重なる

六月。亡き母の好きだった萩の花が、今年も紫色の小さな花弁を気持ちよさそうに風に揺らしています。

「人生は楽しまなくてはね」と、五月の私の誕生日に短いメッセージをくれた二週間後

人生は楽しむもの

挑戦するからこそ出会える景色
衆議院 島根一区予定候補 村穂江利子

六月八日、母は闘病生活にピリオドを打ち、帰らぬ人となりました。

その日から十三回目の母の命日、私は記者会見の会場にいました。次期衆院選島根一区の予定候補者として。

「人生は楽しまなくてはね」

—母の言葉の真意は何か。本当のことはわかりません。しかし、私も今、五十五年の人生を経て、母が贈ってくれたこの言葉に、一つの解釈を得ています。それは、自分で自

分の限界を決めずにチャレンジすること、人生は何倍にも楽しめるということ。そして、そのチャレンジ自体が、たとえ難儀な道を進むものであろうとも、必ずや人生の彩りとなり、その道を選んだからこそ出会える自分だけの景色を見せてくれるのだ、と。

母は、「淋しさの谷、涙の谷をさまよわぬものは、人生を知ることに少なし」（武者小路実篤『愛と死』より）、という言葉も好んでいました。

そんな母でしたから、今回の私の挑戦をきつと応援してくれているだろうと、風に揺れる萩の花に母の面影を重ねながら、決意を新たにしています。



商店街で訴える むらほ島根一区予定候補、県議、市議団ら

日本共産党島根県委員会は6月8日に記者会見を行い、次期衆議院選挙に向け小選挙区・島根1区の予定候補者として、党県常任委員の村穂（むらほ）江利子氏（日本共産党公認）を擁立することを発表しました。

16日、むらほ衆院島根1区予定候補、尾村利成県議、舟木健治、たちばなふみ両市議らが商店街前で宣伝し「来たるべき総選挙で、アメリカいいなりで大軍拡

日本共産党 中国ブロック一斉宣伝

むらほえり「衆院島根一区予定候補、県議、松江市議団

をすすめ、原発メーカー言いなりで原発を推進する岸田政権に厳しい審判を下そう」と呼びかけました。

い続ける法案を自民、公明、維新、国民民主が強行成立させたことにふれ、「福島原発事故の教訓を投げ捨てる暴挙にほかならない」と厳しく批判しました。

松江市議会六月定例会始まる 市民の命暮らしまでもれ市議団が一般質問

20日、松江市議会6月定例会が招集され、令和5年度一般会計補正予算4億8400万円余のほか、企業団地事業会計補正予算、病院事業会計補正予算、松江市交通事業会計のあわせて予算案件4、条例改正案や契約などの案件16、専決処分承認案件11、報告案件19の計50議案が提案されました。

一般質問は、26日から28日の三日間。29日から各委員会が開かれ、最終日7月13日の本会議で各議案の採決が行われます。

補正予算の主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種の体制整備費（2億2000万円余）、新たな企業団地の適地選定（477万円）など。

条例改正、契約案件の主なものは、◆松江市新たな観光財源検討委員会条例の制定、◆松江城天守防災施設等整備

舟木けんじ
市議会議員たちばなふみ
市議会議員

- 共産党市議団の一般質問は以下の通りです。
- 舟木けんじ市議
- ①保育所等における虐待防止について
 - ②不登校支援について
 - ③不登校支援について
 - ④原産60年稼働問題
 - ⑤物価高騰・市民生活支援を
 - ⑥マイナンバー問題
 - ⑦学校に福祉の目を
 - ⑧SSW活用事業について